

「衆議院選挙制度に関する調査会」（第1回）議事概要

1 日 時 : 平成26年9月11日(木) 16:00 ~

2 場 所 : 衆議院議長応接室

3 出席者 :

荒木 毅	富良野商工会議所会頭
岩崎美紀子	筑波大学教授
大石 眞	京都大学教授
大竹 邦実	地域社会ライフプラン協会理事長、元衆議院調査室長
萱野 稔人	津田塾大学教授
小谷真生子	報道キャスター
櫻井 敬子	学習院大学教授
佐々木 毅	明るい選挙推進協会会長、元東京大学総長
佐藤 祐文	横浜市会議長
曾根 泰教	慶應義塾大学教授
並木 泰宗	日本労働組合総連合会政治局局長
平井 伸治	鳥取県知事
堀籠 幸男	慶應義塾大学特別招聘教授、元最高裁判事
山田 孝男	毎日新聞社特別編集委員
伊吹 文明	衆議院議長
赤松 広隆	衆議院副議長
逢沢 一郎	衆議院議院運営委員会委員長

4 議事要旨

- (1) 議長及び副議長から挨拶が行われた。
- (2) 佐々木毅委員が座長に選任され、佐々木座長から挨拶が行われた。
- (3) 委員から自己紹介が行われた。
- (4) 運営細則の協議が行われ、運営細則は承認された。
- (5) 事務局から資料の概要説明が行われた。
- (6) 全体的なスケジュール、次回のテーマ及び日程の協議が行われ、決定した。

①全体的なスケジュール

- ・ 今後、月に1回ないし2カ月に3回程度のペースで開催する。
- ・ 「一票の較差問題」についての議論を行う。
- ・ 次に、様々な選挙制度（小選挙区制、比例代表制、並立制、併用制等）や諸外国の例を参考にしながら、各選挙制度の利害得失について検討を行う。
- ・ 次に、各党が選挙の際に公約した「定数削減問題」について検討を行う。
- ・ 最後に、現行憲法に係る問題を含め、日本の将来というものを考えた検討を行う。
- ・ 上記の検討を行っている間に、各政党の意見や考えを聴く機会を設ける。
- ・ 答申については、現議員の任期を念頭に置きつつ、立法作業や周知期間を考慮してまとめていきたい。

②次回のテーマ

「一票の較差問題」

③次回の日程

平成26年10月9日（木）

(配付資料)

- ・「衆議院選挙制度に関する調査会」運営細則(案)